

授業概要

わたしたちの日々の生活は自分の周囲の人たちに頼み事をする事で成り立っている。たとえば、「駅まで車で迎えに来て」と親に頼んだり、「来週の日曜日、買い物に付き合っ」と友達にお願いをしたり、「ちょっとアンケートに答えて欲しい」と見知らぬ人に声をかけたりする。本講義では、人が他者に対して何らかの働きかけを行っていること、すなわち「对人的影響」に焦点を当てる。

人はなぜ他者に影響を与えることができ、また、なぜ人からの働きかけに応じようと思うのだろうか？影響力の強弱を決める要因とは？本講義ではこのような对人的影響にかかわる問題について講義する。授業は主に講義形式で行うが、映像視聴やワークも取り入れる。授業内容を興味深いものにするために各履修者の積極的な授業参加を期待する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：「人間関係論」で学ぶこと
第 2 回	対人コミュニケーション再考
第 3 回	報酬や罰にもとづく影響力
第 4 回	知識にもとづく影響力
第 5 回	人間関係にもとづく影響力
第 6 回	影響力を及ぼす方法①
第 7 回	影響力を及ぼす方法②
第 8 回	中間まとめ
第 9 回	影響力を与える側の要因
第 10 回	影響力を受ける側の要因
第 11 回	説得のモデルと理論①
第 12 回	説得のモデルと理論②
第 13 回	認知的不協和
第 14 回	無意図的な影響力
第 15 回	総括
第 16 回	定期試験

到達目標

- コミュニケーションに関する心理学の知識と技能を活かすことができる。
- 対人影響力における理論やアプローチを説明できる。
- 身近なコミュニケーションについて社会心理学の視点から考察できる。

履修上の注意

毎週の講義後にリアクションペーパーの提出を求める。講義に対する質問や意見等を積極的に書くようにして欲しい。また、授業と関係のない私語は厳禁である。私語を含め周囲に迷惑をかけるような行動がみられる場合には、退席を求めることがあることに注意すること。授業内で行うグループディスカッションには積極的に参加すること。

予習・復習

- 配布資料を用いた復習は必ず行うこと。
- 講義で扱った内容と、自分の日々の生活上の出来事との関連を考えることも重要な学びになりうる。

評価方法

- 定期試験：100%（規定の出席回数に満たない場合は単位認定を行わない）

テキスト

毎回、講義資料を授業テキストとして配布する。また、参考文献は適宜授業内で紹介する。